

(日本船主協会事務局試訳)

プレスリリース

**ICS「EUは船舶からのCO<sub>2</sub>排出量監視規制について国際社会と足並みを揃える必要あり」  
～国際船主団体が新たな大型キャンペーンを開始～**

国際海運会議所（ICS）加盟の各国船協は、EU-MRV 規制に関して、EU メンバー諸国、EU 議会ならびに欧州委員会を対象にキャンペーンを実施していくことに合意した。

このキャンペーンの目的は、船舶からのCO<sub>2</sub>排出量の監視に関する一方的なEUの規制と、国際海事機関（IMO）で合意された強制的な全世界的CO<sub>2</sub>報告制度の内容との整合を図ることの重要性について、EUを説得することにある。

欧州船主協会（ECSA）と密接に協調して対応していくことに加え、ICS は米国、中国およびその他アジア諸国を含む、非 EU 加盟国政府の支持を得るべく働きかけていくと発表した。

先週、東京で開催された ICS 年次総会の後、ICS 新会長の Esben Poulsen 氏は以下のとおり説明した。

「海運は、真に公平な競争条件を確保するために世界的な規則を必要とする世界的な産業であり、これを欠けば、海運は大混乱に陥る。本年 4 月にIMO加盟国の全会一致で合意されたIMOの燃費報告制度は、世界的なCO<sub>2</sub>削減に向けて海運業界が多大な貢献を果たす可能性のある先駆的な措置であり、ICS加盟船協は大いにこれを歓迎する。」

Poulsen 会長は、以下のとおり続けた。

「ICS は IMO の強制的な燃費報告制度を完全に支持しているのに対して、当初多くの非 EU 加盟国政府がいくつかの点で態度を留保していたが、IMO が議論を進展させなければ、EU による一方的な地域規制になってしまうことを海運業界が主張したことで、問題を克服することが出来た。EU はこれに応え、国際社会全体で合意された IMO の報告制度との整合を図る必要がある。」

船舶からのCO<sub>2</sub>排出に関するEUの燃費報告制度（MRV\*）は、2015年に採択され、3年以内に完全導入される。しかし、非EU国籍船を含む、欧州域内を航行する全ての船舶は、2017年からいくつかの条文に適合することが求められる。

\* : MRV : Monitoring, Reporting and Verification

しかしながら、重要なのは、EU 規則には、IMO にて採択された類似の制度との整合性を図るために、欧州委員会は規則の修正を提案出来るという規則が含まれていることである。

Poulsen 会長は、以下のとおり付け加えた。

「近く IMO で採択される国際規制に一致させるよう、EU 規則の内容を修正することを、今こそ欧州委員会が約束することが極めて重要である。率直に言って、EU による認証方法は旗国が実施する IMO の制度とは一致していない。それ故、目的に完全にそぐわないものになってしまう。

また、IMO での合意に相違して、商業上繊細な運航情報の提出が要求され、欧州委員会によって公表されることに多くの非 EU 海事国が強硬に反対するであろう見ている。」

Poulsen 会長は、以下のとおり強調した。

「海事産業が真に懸念していることは、EU がもし IMO の制度との整合を図ることを拒否した場合、EU 規制では許容されても、他国政府からその行為が不誠実なものとして受け止められ、IMO による更なる CO<sub>2</sub> 削減策の検討が妨げられる可能性があることである。」

ICS は、2013 年から全世界的に導入された、強制的な IMO の CO<sub>2</sub> 削減規則に加え、さらなる CO<sub>2</sub> 削減策の策定を全面的に支持すると発表した。

昨年 12 月のパリ協定合意直後に、ICS は、CO<sub>2</sub> 削減のため、IMO は“Intended IMO Determined Contribution (IMO 約束草案)”を策定すべきことを提案し、本年 10 月の IMO 海洋環境保護委員会において、さらに議論される予定である。

Poulsen 会長は、以下のとおりコメントした。

「国際海運セクターは、海上輸送量が増加したにもかかわらず、2007 年比で約 10% もの CO<sub>2</sub> 排出量削減を実現した。今年の 1 月以降 80% ほど油価格が上昇しているが、これによって、更なる燃料消費量の削減とそれに伴う CO<sub>2</sub> の削減のために、出来ることをすべて実施しようとする全ての船主の意思をまさに強固にするものである。

IMO の更なる措置は、海運業界の CO<sub>2</sub> 削減を手助けするものとなろう。最後に、我々に必要なのは、EU 気候変動当局者に妥協しないことであり、EU が IMO 規則との整合を拒否すれば、IMO での議論の進展を極度に妨害し、複雑にする可能性があることを恐れている。

繰り返し言うが、海運業界は、世界的な産業として、世界的な枠組みが必要であるとの強い信念を持っている。そして、IMO だけがこれを提供できる。」

以上